

会 員 各 位

熊本市歯科医師会
会長 宮 本 格 尚
(学術委員会扱い)

令和4年度 熊本市歯科医師会学術研修会のご案内
「HIV感染症の現在(仮)」

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、熊本大学、鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター長、臨床レトロウイルス学分野特任教授の松下修三先生をお招きし、下記日程にて講演会を行います。

以前は不治の病だった HIV 感染症も治療の進歩によって、エイズ発症を予防したり遅らせたりできる治療可能な病になっているようです。HIV に罹患した患者が歯科医院に来院したとき、我々歯科医療従事者も HIV 感染症について正確な知識を得ていることで、差別や偏見のない対応が可能になると思います。大変興味深い内容ですので、スタッフの皆様も是非ご一緒にご聴講ください。

なお、本研修会は、熊本県歯科医師会により、後日ホームページ内の会員ページに動画掲載予定です。
(動画視聴希望の先生は、申し込み不要です)

対面での参加希望の方は、FAXにて申し込み後、当日は日歯研修カードをお持ちください。

現時点では、マスク着用のうえ感染予防に留意して開催の予定ですが、新型コロナウイルス感染症の現状に応じて、変更があるかもしれません。

記

日 時 : 令和 5 年 2 月 9 日(木) 19:30~21:00

場 所 : 熊本県歯科医師会館 4 階ホール (定員 70 名)

講 師 : 熊本大学、鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター長
臨床レトロウイルス学分野特任教授 松下修三先生

FAX申込書 申し込み締め切り日: 令和 5 年 2 月 3 日(金)

熊本市歯科医師会事務局行(学術委員会) FAX:344-9778

郡市名 _____ 歯科医院名 _____

会員氏名 _____ 歯科医師()名、スタッフ()名

【抄録】

HIV 感染症/エイズは、1981 年に突如として人間社会に出現した。エイズは世界各国で多くの犠牲者を生み、現代の黒死病として恐れられた。さらに、エイズ発症者が同性愛者や麻薬常習者、ヒスパニックなどで多く見られた為、社会的偏見差別を生んだ。1983 年には、病原ウイルスである HIV-1 が同定され、その生活環の研究から有効な抗ウイルス療法(ART)が開発された。その後の飛躍的な ART の進歩によって、治癒は得られないものの、エイズは「死の病」から「治療可能な慢性感染症」と変貌したのである。また、ART で血中のウイルス量が測定感度以下に抑えられると、パートナーへの感染が起こらないことが証明され、U=U(Undetectable=Untransmittable)と呼ばれるようになった。即ち、HIV に感染しても ART によってウイルスが抑えられていれば、普通に結婚して子供をもうけ、幸せな家庭を持てる時代となった。しかしながら、ウイルスは排除されておらず、ART を中断するとすぐにウイルスが増殖し、免疫不全の進行や薬剤耐性ウイルスの増殖を招く。即ち、ART は高いアドヒアランスのもとに継続されることが必要な治療である。HIV-1 は感染力の弱いウイルスであり、日常診療の感染予防は標準予防策で十分である。

【講師略歴】

昭和 56 年 3 月	熊本大学医学部卒業
昭和 56 年 4 月	熊本大学病院・日赤熊本病院にて臨床研修
昭和 58 年 4 月	熊本大学大学院医学研究科博士課程入学
昭和 58 年 11 月	米国国立癌研究所・臨床腫瘍部門研究員 (Samuel Broder 教授のもとでレトロウイルス感染と免疫についての研究に従事)
昭和 62 年 8 月	熊本大学附属病院輸血部助手
平成 1 年 3 月	熊本大学医学博士学位取得
平成 7 年 4 月	第8回日本内科学会奨励賞授賞
平成 9 年 7 月	熊本大学エイズ学研究センター教授(病態制御分野)
平成 27 年 4 月	熊本大学エイズ学研究センター・センター長
平成 31 年 4 月	熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 臨床レトロウイルス学 教授 (改組のため)
令和 3 年 4 月 1 日～	熊本大学、鹿児島大学、ヒトレトロウイルス学共同研究センター・センター長、 臨床レトロウイルス学 特任教授
平成 25 年 4 月～令和 3 年 11 月	日本エイズ学会理事長
令和 3 年 12 月～	日本エイズ学会監事
平成 28 年 7 月～	国際エイズ学会(International AIDS Society:IAS):運営評議員 (Governing council member; 令和2年再選)
(専門分野)	血液免疫内科、HIV 感染症の病態と治療